

年の瀬嫌いは歳のせい？

株式会社 榎戸材木店
会長 榎戸正人

ショートショート

いやあ、極楽、極楽！歳を取ると階段はシンドイ。エスカレーターに乗るとホッとして体が軽くなったような気がする。

エレベーターは箱に閉じこめられたような息苦しさがあって、好きになれない。棺桶に入れられたみたいだ。

その点、エスカレーターは周りを見ながら手摺りに掴まっているだけで上に行ける。この開放感の何と素晴らしい事か！コイツを発明したヤツにはノーベル賞をやってもいい。それにしても長いエスカレーターだな…

白装束の老人が見上げるエスカレーターの先には白い雲。さらにその先には……

* * * * *

はや12月。若い頃なら「1年が過ぎるのが早いねえ！」で済みますが、70歳にもなりますと、そろそろ「終活」を考えなくてはいけないなどと考えます。白装束でエスカレーターに乗ってからでは遅い。来年から、まず不要なものの整理。昔使っていたフィルム式の古い一眼レフカメラ、機械式の腕時計、オーディオ・アンプなどを中古品買い取り業者に販売。それで得たお金で孫たちのプレゼントを買ったり、遊園地に連れて行ったり。孫が4人いると、臨時収入がないと足りません。所得税減税も、孫で消えそう……

人生100年時代などと報じられていますが、老後資金は年金だけではとても足りません。政府は「貯蓄から投資へ」と盛んに言いますが、それは国は老後の面倒まで見られないから、自分たちで何とかしろということです。毎年、年の瀬になると、また1歳、歳を取るのだなとため息が出ますが、孫の顔でも思い浮かべなくてはやっていられません。マゴマゴしていたら、お迎えが来てしまう……

まあ、90歳くらいまでは生きられると思いますが、10年なんてアツと言う間。ついこの前、60歳の還暦を迎えたと思ったら、もう70歳です。若いころには老後のことなど考えもしませんでした。学生時代の友人知人の訃報が届くようになると、ノンビリとはしてられないなと焦りを感じます。100歳まで生きる人もいれば、70代で亡くなる人もいます。だから平均寿命が80代なわけで、皆が80代で一斉に死ぬわけではありません。

間もなく正月だと言うのに暗い話題を書くなと思われるかも知れませんが、これから明るい老後を過ごすためには毎日ノホホンと生きて、チコチャンに叱られるようではいけない。会社の経営に長期ビジョンが必要なように、人生にも長期的な計画性が求められます。お正月というのは、若い人も年配の人も、これからの人生を考える機会なのかもしれません。もちろん、お酒を飲みながらですが。飲み過ぎて、死んだりして。